

IV. 調査票

(1) 就学前児童アンケート調査票



ハッピーごまちゃん®

就学前児童の保護者の方へ

子ども・子育て支援事業 に関するニーズ調査票

【調査ご協力をお願い】

皆様には、日頃から市政にご協力とご理解をいただき、誠にありがとうございます。

子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく、第一期八潮市子ども・子育て支援事業計画が平成31年度で終了します。第二期計画の策定に向けて、皆様の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」をお聞きし、現状を把握するために「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査」を実施いたします。

皆様からのご回答は、今後の本市の子ども・子育て支援のあり方を決めるために欠かせない、重要な資料となりますので、ご多忙とは存じますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成31年3月 八潮市長 大山 忍

【ご記入にあたってのお願い】

- 1 調査票には、お子さんの保護者の方が記入してください。
(無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません)
- 2 ご回答は、選択肢に ○ をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 3 質問によって、「あてはまる番号1つに○」「あてはまる番号すべてに○」など、回答数を指定している場合は、指定の範囲内で ○ をつけてください。
また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある () 内には、具体的な内容を記入してください。
- 4 数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例：午後0 [6]時→1 [8]時)で記入してください。
- 5 設問のご回答によって、次の設問に回答していただく必要なくなる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問にお進みください。

ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒(切手不要)に入れて

4月9日(火) までに

郵便ポストまたは、別紙の「回収ボックス施設一覧表」に記載してある、認可保育所、幼稚園、学童保育所、子育てひろば等に設置してある回収ボックスへご投函ください。

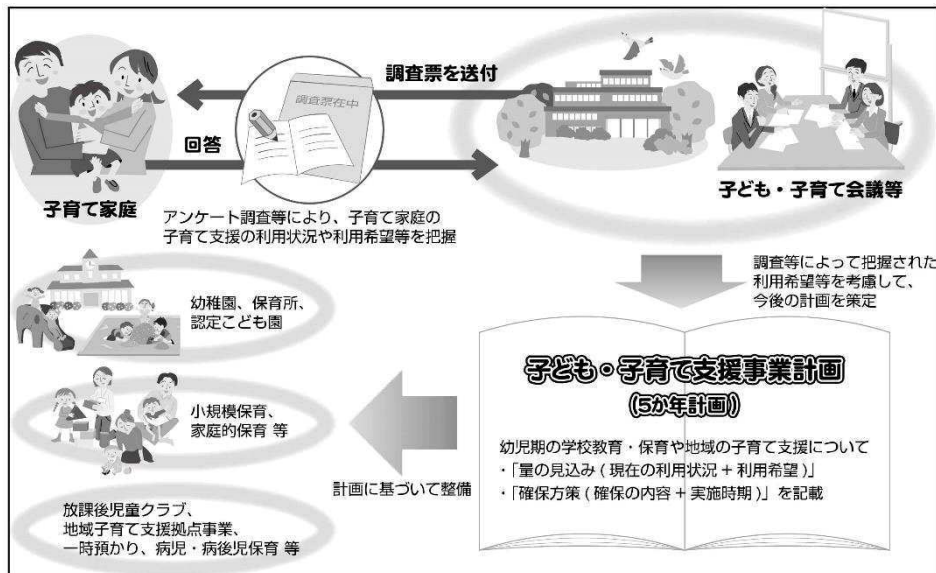
ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

八潮市役所 子育て福祉部 子育て支援課 子育て支援係
電話 048-996-2111(内線 839)

回答するに当たってお読みください

- この調査は、平成30年12月31日現在、市内在住の0歳から小学生就学前までのお子さんのいる家庭の中から無作為に選んだ2,100人の方々に送付しており、無記名で回答いただくものです。
- 回答された内容は、すべて数字で統計的に処理し、子ども・子育て支援事業施策の検討にのみ利用するものであり、回答者個人が特定されたり他の目的に利用されたりすることは一切ありません。
- この調査は、幼稚園・保育所・学童保育所などの教育・保育・子育て支援を計画的に整備するために、住民の皆さんの利用状況や利用希望を把握することを目的としています。〔この調査の回答（施設や事業の利用希望等）により、施設や事業者の利用の可否を決定することはありません。〕
- 八潮市では、子ども・子育て支援法に基づく制度により、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、「子ども・子育て支援事業計画」を作成しています。（平成27年度から実施中）

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



（子ども・子育て支援新制度の趣旨）

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりと愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法22条）。
保育所	児童福祉法に定める、保育を必要とする0歳～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法39条）。
認定こども園	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）。
子育て	教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援。
教育	問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています。
小規模保育施設	国が定める最低基準に適合した施設で、市の認可を受けた定員が概ね6～19人の施設。
家庭的保育	保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業（保育ママ）。
事業所内保育施設	企業が主に従業員用に運営する施設。
居宅訪問型保育	ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭を訪問し保育する事業。
ファミリー・サポート・センター	子育ての援助を受けたい方と子育てを援助したい方が会員となり、地域で子育てを支援する相互援助活動。
緊急サポートセンター	子どもが病気の時や緊急的に保育が必要となったときに子どもを預かる事業。
こんにちは赤ちゃん訪問 (乳児家庭全戸訪問事業)	生後4ヶ月までの赤ちゃんのいるすべての家庭を保健師が訪問する事業。
ホームスタート	未就学児のお子さんがある家庭にボランティアが訪問し、話を聞いたり、一緒に何かをしたりし、地域へ踏み出すきっかけづくりを支援する事業。
公立保育所 「すくすく子育て」	市内公立保育所で園児と周辺地域の親子との交流の場。
やしお子育て応援ナビ	市のさまざまな子育て支援サービスについてパソコン、携帯電話、スマートフォンから検索・閲覧ができる子育て応援Webサイト及びアプリケーション。
利用者支援事業	研修を受講した子育てコーディネーターが、子育て親子や妊産婦のニーズに合わせて、適切な子育て支援機関につなぐサポートをする事業。



宛名のお子さんの子育て環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。
 ※お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

- | | | | | | |
|----------|-----------|---------|--------|--------|--|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 幼稚園 | |
| 6. 保育所 | 7. 認定こども園 | 8. その他（ | ） | | |

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）にもっとも影響を与えると思う環境は何ですか。
 （あてはまる番号すべてに○）

- | | | | |
|-----------|---------|--------|--------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育所 |
| 5. 認定こども園 | 6. その他（ | | |
| ） | | | |

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | | |
|------------------------------------|---|---------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } | ⇒ 問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | | |
| 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる | } | ⇒ 問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | | |
| 5. いずれもない | | ⇒ 問10へ |

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
 （あてはまる番号すべてに○）

- | | | |
|---|---|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | } | |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である | | |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | | |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | | |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | | |
| 6. その他（ | | ） |

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。
友人・知人に預かってもらっている状況についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

- | | | |
|---|---|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | } | |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である | | |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | | |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | | |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | | |
| 6. その他（ | | ） |

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. いる／ある ⇒ 問10-1へ | 2. いない／ない ⇒ 問11へ |
|-------------------|------------------|

問10-1 問10で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設（子育てひろば、児童館等） |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 保育所 |
| 7. 幼稚園 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 11. その他 | 【例】ベビーシッター |

問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

続けて次のページにお進みください



(2) -1 (2)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」を、口内に数字でご記入ください。

※就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり	<input type="text"/> 日	1日当たり	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
-------	------------------------	-------	--

(2) -2 (2)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻を、口内に数字でご記入ください。
※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時間は、必ず(例)08時・18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時刻	<input type="text"/> <input type="text"/> 時	帰宅時刻	<input type="text"/> <input type="text"/> 時
--------	---	------	---

問13 問12の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。 ⇒該当しない方は、問14へ

フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

(1) 母親 

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親 

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問14 問12の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。 ⇒該当しない方は、問15へ

就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・丸数字それぞれ1つに○)

※該当する口内には数字をご記入ください。

(1) 母親 

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	
→希望する就労形態 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td> ① フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) ② パートタイム・アルバイト等(①以外) →1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間 </td> </tr> </table>	① フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) ② パートタイム・アルバイト等(①以外) →1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間
① フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) ② パートタイム・アルバイト等(①以外) →1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	

(2) 父親



1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

① フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
② パートタイム・アルバイト等（①以外）

→1週当たり 日 1日当たり 時間

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問15-1に示した事業が含まれます。

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 利用している ⇒ 問15-1へ	2. 利用していない ⇒ 問15-5へ
--------------------	---------------------

問15-1 問15-1～問15-4は、問15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。

※年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 幼稚園 （通常の就園時間の利用）	2. 幼稚園の預かり保育 （1の通常の就園に加え就園時間を延長して預かる事業）〔定期的な利用の場合〕
3. 認可保育所 （都道府県等の認可を受けたもの）	4. 認定こども園 （幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模保育施設 （国が定める最低基準に適合した施設で市の認可を受けた定員が概ね6～19人の施設）	6. 家庭的保育 （保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）〔保育ママ〕
7. 事業所内保育施設 （企業が主に従業員用に運営する施設）	8. その他認可外保育施設
9. 居宅訪問型保育 （ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）	10. ファミリー・サポート・センター （子育ての援助を受けたい方と子育てを援助したい方が会員となり、地域で子育てを支援する相互援助活動。）
11. その他（ <input type="text"/> ）	

問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。

また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

※1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に数字でご記入ください。

※時間は、必ず（例）08時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり	□	日	1日当たり	□	□	時間（	□	□	時～	□	□	時）
-------	---	---	-------	---	---	-----	---	---	----	---	---	----

(2) 希望

1週当たり	□	日	1日当たり	□	□	時間（	□	□	時～	□	□	時）
-------	---	---	-------	---	---	-----	---	---	----	---	---	----

問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。（あてはまる番号1つに○）

※2. 他の市区町村を選んだ場合は、実施場所の市区町村をご記入ください。

1. 八潮市内	2. 他の市区町村（	市区町村）
---------	------------	-------

問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は何ですか。

（あてはまる番号すべてに○）

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育てをしている方が現在就労している
3. 子育てをしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育てをしている方が病気や障がいがある
6. 子育てをしている方が学生である
7. その他（

問 15-5 問 15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

※「8.」に○をつけた場合は、年齢を□内に数字でご記入ください。

1. 利用する必要がない （子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないため等）
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため（□ □ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（

問 16 すべての方にうかがいます。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所、認定こども園、小規模保育施設、新制度に移行した幼稚園の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用) 〔利用料：月額 30,000 円程度〕	2. 幼稚園の預かり保育 (1の通常の就園に加え就園時間を延長して預かる事業)〔定期的な利用の場合〕 〔利用料：1時間300円程度〕
3. 認可保育所 (都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの) 〔利用料：月額 0 円～60,000 円〕 ※所得・児童年齢に応じた利用料設定	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) 〔利用料：1日4時間程度利用…幼稚園と同様〕 〔利用料：1日8時間程度利用…保育所と同様〕
5. 小規模保育施設 (市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの) 〔利用料は認可保育所と同様〕	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)〔保育ママ〕 〔利用料は認可保育所と同様〕
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設) ※現在お勤めの企業が設置していない場合でも利用希望があれば○をつけてください。	8. その他認可外保育施設
9. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	10. ファミリー・サポート・センター (子育ての援助を受けたい方と子育てを援助したい方が会員となり、地域で子育てを支援する相互援助活動。) 〔利用料：1時間700円～800円〕
11. その他 ()	

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。(あてはまる番号1つに○)

※ 2. 他の市区町村を選んだ場合は、実施場所の市区町村をご記入ください。

1. 八潮市内	2. 他の市区町村 () (市区町村)
---------	----------------------

問 16-2 問 16 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ、「3.」から「11」にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園(幼稚園の預かり保育を合わせて利用する場合も含む)の利用を強く希望しますか。(あてはまる番号1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 16-3 保育所においても幼稚園と同様な教育が必要であると思いますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 必要である	2. 不要である	3. その他 ()
----------	----------	------------

2019（平成 31）年 10 月から、0～2 歳児は住民税非課税世帯、3～5 歳児はすべての子どもを対象とした幼児教育・保育の無償化が開始される予定です。

問 16-4 無償化になった場合、宛名のお子さんの平日（月～金）の「定期的に」利用したいと考える事業についてお答えください。（あてはまる番号1つ〇）

1. 今とかわらない 2. 増やしたい 3. 新たに利用したい

問 16-5 問 16-4 で、無償化になったら「2. 増やしたい」または「3. 新たに利用したい」と回答した方にうかがいます。利用したい番号を〇印をつけ、日数や時間等の利用意向をご記入ください。

	教育・保育事業	利用日数/週	利用時間/日	利用時間帯（24 時間制）
1	幼稚園	日/週	時間/日	時～ 時
2	幼稚園の預かり保育	日/週	時間/日	時～ 時
3	認可保育所	日/週	時間/日	時～ 時
4	認定こども園	日/週	時間/日	時～ 時
5	小規模保育施設	日/週	時間/日	時～ 時
6	家庭的保育	日/週	時間/日	時～ 時
7	事業所内保育施設	日/週	時間/日	時～ 時
8	その他認可外保育施設	日/週	時間/日	時～ 時
9	居宅訪問型保育	日/週	時間/日	時～ 時
10	ファミリー・サポート・センター	日/週	時間/日	時～ 時
11	緊急サポートセンター	日/週	時間/日	時～ 時
12	その他（下段に事業を記入） ()	日/週	時間/日	時～ 時

問 16-6 問 16-4 で、無償化になったら「3. 新たに利用したい」と回答した方にうかがいます。新たに「定期的に」利用したいと考える年齢をご記入ください。

歳 ヶ月

**宛名のお子さんの地域の
子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。**

問17 宛名のお子さんは、現在、子育てひろば（地域子育て支援拠点事業：親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、八潮市では、やしお子育てほっとステーションの他6ヶ所開設しています）を利用していますか。（次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。）

※おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

1. 子育てひろば（地域子育て支援拠点事業：親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
1週当たり □ 回 もしくは 1ヶ月当たり □ 回 程度
2. 利用していない

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（あてはまる番号1つに○）

※おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

利用料は無料です。

1. 利用していないが利用したい
1週当たり □ 回 もしくは 1ヶ月当たり □ 回 程度
2. すでに利用しているが利用日数を増やしたい
1週当たり 更に □ 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に □ 回 程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものを答えください。

※①～⑬の事業ごと、A～Cのそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

※なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A	B	C
	知っている	これまでに利用 したことがある	今後利用したい
①パパママ学級 ブレマサロン（母親学級）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②保健センターの情報・相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④八潮市教育相談所	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤公立保育所「すくすく子育て」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥子育て応援ガイド	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦ホームスタート	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧こんにちは赤ちゃん事業 （乳児家庭全戸訪問事業）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨保育所や幼稚園の園庭開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩家庭児童相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑪子育て電話相談	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑫やしお子育て応援ナビ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑬利用者支援事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

**宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の
「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。**

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

※希望がある場合は、利用したい時間帯を、□内に数字でご記入ください。

（例）08時～18時のように24時間制でご記入ください。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に1～2回は利用したい



利用したい時間帯

□ □ 時から □ □ 時まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に1～2回は利用したい



利用したい時間帯

□ □ 時から □ □ 時まで

問 20-1 問 20 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 月に数回仕事が入るため

2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため

3. 親族の介護や手伝いが必要なため

4. 息抜きのため

5. その他（

）

問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。

※希望がある場合は、利用したい時間帯を、□内に数字でご記入ください。

（例）08時～18時のように24時間制でご記入ください。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担【利用料：500円程度】が発生します。

1. 利用する必要はない

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

3. 休みの期間中、週に数日利用したい



利用したい時間帯

□ □ 時から □ □ 時まで

問 21-1 問 21 で「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 週に数回仕事が入るため

2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため

3. 親族の介護や手伝いが必要なため

4. 息抜きのため

5. その他（

）

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 22 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で「1.」に○をつけた方）にうかがいます。 ⇒ **利用されていない方は、問 23 へ**

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったことはありませんか。

(あてはまる番号1つに○)

1. あった	⇒ 問 22-1 へ	2. なかった	⇒ 問 23 へ
--------	-------------------	---------	-----------------

問 22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれになりますか。(あてはまる番号すべてに○)

※それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。(半日程度の場合も1日と数えます)

1年間の対処方法	日数
1. 父親が休んだ	□ □ 日
2. 母親が休んだ	□ □ 日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□ □ 日
4. 父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた	□ □ 日
5. 病児・病後児の保育を利用した	□ □ 日
6. ベビーシッターを利用した	□ □ 日
7. 緊急サポートセンターによる病児・病後児の預かりを利用した	□ □ 日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日
9. その他 ()	□ □ 日

問 22-2 問 22-1 で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

(あてはまる番号1つに○)

※日数についても□内に数字でご記入ください。

※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料 [利用料: 1時間 1,000円~1,200円] がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □ □ 日	⇒ 問 22-3 へ
2. 利用したいとは思わない	⇒ 問 22-4 へ

問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：緊急サポートセンター等）
4. その他 ()

⇒ **問 23 へ**

問 22-4 問 22-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 2. 地域の事業の質に不安がある |
| 3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない | |
| 4. 利用料がかかる・高い | 5. 利用料がわからない |
| 6. 親が仕事を休んで対応する | 7. その他 () |

問 22-5 問 22-1 で「3. ～9.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。
(あてはまる番号1つに○)

※「3. ～9.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数を□内に数字でご記入ください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ □ □ 日 ⇒ 問 23 へ |
| 2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問 22-6 へ |

問 22-6 問 22-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない | 4. その他 () |

設問が多くてごめん
なさい。

手が空いた時に、少し
ずつでも、ご記入いただ
けると幸いです。



**宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う
一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問 23 宛名のお子さんについて、平日の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

※1年間の利用日数(おおよそ)も□内に数字でご記入ください。

利用している事業・日数(年間)	
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	□ □ 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	□ □ 日
3. ファミリー・サポート・センター (子育ての援助を受けたい方と子育てを援助したい方が会員となり、地域で子育てを支援する相互援助活動。)	□ □ 日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	□ □ 日
5. ベビーシッター	□ □ 日
6. その他()	□ □ 日
7. 利用していない	

⇒ 問 24 へ

問 23-1 問 23 で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

現在利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない	8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
9. その他()	

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無・日数をお答えください。

(あてはまる番号・丸数字すべてに○)

※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。

※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料【利用料：1時間 400円～800円】がかかります。

1. 利用したい	計 □ □ 日
① 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	□ □ 日
② 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 等	□ □ 日
③ 不特定の就労	□ □ 日
④ その他()	□ □ 日
2. 利用する必要はない ⇒ 問 25 へ	

問 24-1 へ

問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|---|
| 1. 大規模施設で子どもを預かる事業 (例: 幼稚園・保育所等) |
| 2. 小規模施設で子どもを預かる事業 |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等近くの場所で保育する事業 (例: ファミリー・サポート・センター等) |
| 4. その他 () |

問 25 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。(あてはまる番号・丸数字すべてに○)

※それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	① (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	□ □ 泊
	② 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	□ □ 泊
	③ ②以外の保育事業 (認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	□ □ 泊
	④ 仕方なく子どもを同行させた	□ □ 泊
	⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 泊
	⑥ その他 ()	□ □ 泊
2. なかった		

問 25-1 問 25 で「1. あった ① (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。 ⇒ 「①, 以外」を選択した方は、問 26 へ
その場合の困難度はどの程度でしたか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|----------|--------------|-------------|
| 1. 非常に困難 | 2. どちらかという困難 | 3. 特に困難ではない |
|----------|--------------|-------------|



宛名のお子さんが5歳以上の方に、放課後の過ごし方の希望をうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問30へ

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ該当する週当たり日数を□内に数字でご記入ください。

※「学童保育所」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 塾や習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 児童館	週	<input type="text"/>	日くらい
5. 放課後子ども教室※1	週	<input type="text"/>	日くらい
6. 学童保育所※2	週	<input type="text"/>	日くらい → 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	<input type="text"/>	日くらい

※1 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※2 「学童保育所」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料〔利用料：月額9,000円〕がかかります。

問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ該当する週当たり日数を□内に数字でご記入ください。

※「学童保育所」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。

※だいたい先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 塾や習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 児童館	週	<input type="text"/>	日くらい
5. 放課後子ども教室	週	<input type="text"/>	日くらい
6. 学童保育所	週	<input type="text"/>	日くらい → 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	<input type="text"/>	日くらい

問 28 問 26 または問 27 で「6. 学童保育所」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育所の利用希望はありますか。

((1) (2) それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

※事業の利用には一定の利用料がかかります。

※利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。

(例) 08時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
3. 利用する必要はない		

(2) 日曜・祝日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
3. 利用する必要はない		

問 28-1 問 26 または問 27 で「4. 児童館」「5. 放課後子ども教室」「6. 学童保育所」に○印をつけた方にうかがいます。

今後、利用するに当たり、実施内容や利用時間などについて希望や要望があれば、その内容をご記入ください。

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

※事業の利用には一定の利用料 [利用料: 月額 9,000 円] がかかります。

※利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。

(例) 08時～18時 のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
3. 利用する必要はない		

問 30 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 31 へ

問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（あてはまる番号1つに○）

(1) 母親 

- | |
|--------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した |
| 2. 現在も育児休業中である |
| 3. 育児休業中に退職した |

(2) 父親 

- | |
|--------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した |
| 2. 現在も育児休業中である |
| 3. 育児休業中に退職した |

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（どちらか1つに○）

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「1.」に当てはまります。

※年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」と回答してください。

(1) 母親 

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

(2) 父親 

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

※□内に数字でご記入ください。

(1) 母親 

実際の取得期間	□ 歳 □ □ ヶ月	希望	□ 歳 □ □ ヶ月
---------	------------	----	------------

(2) 父親 

実際の取得期間	□ 歳 □ □ ヶ月	希望	□ 歳 □ □ ヶ月
---------	------------	----	------------

問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

※□内に数字でご記入ください。

(1) 母親 

□	歳	□	□	ヶ月
---	---	---	---	----

(2) 父親 

□	歳	□	□	ヶ月
---	---	---	---	----

問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 (あてはまる番号すべてに○)

① 母親 

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

② 父親 

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

(2) 「希望」より遅く復帰した方 (あてはまる番号すべてに○)

① 母親 

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

② 父親 

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(あてはまる番号1つに○)

(1) 母親



1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

(2) 父親



1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

問 30-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にうかがいます。

問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

(1) 母親



1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他 ()

(2) 父親



1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他 ()

問 30-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。
(あてはまる番号1つに○)

(1) 母親 

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

(2) 父親 

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

すべての方に子育て全般のことについてうかがいます。

問 31 子育てに関する情報を主にどこ(だれ)から入手していますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 親族(親 兄弟姉妹等) | 2. テレビ ラジオ 新聞 |
| 3. 隣近所の人 知人 友人 | 4. 子育て雑誌 育児書 |
| 5. 子育てサークルの仲間 | 6. インターネット |
| 7. 保育園 幼稚園 学校 | 8. コミュニティー誌 |
| 9. 市役所等の行政機関 | 10. 情報の入手先がない |
| 11. 市の広報やパンフレット | 12. 情報の入手手段がわからない |

問 32 子育てに関するサークルを自主活動をしていくにあたって、市にどのような支援を行ってほしいですか。(あてはまる番号1つに○)

- | |
|-----------------------|
| 1. 活動場所の提供(場所貸しなど) |
| 2. 情報発信等の支援(掲示板の開放など) |
| 3. 活動時間中の保育サービス支援 |
| 4. 活動資金助成 |

問 33 市に対してどのような子育て支援の充実を図ってほしいと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

- | |
|---|
| 1. 児童館など、親子が安心して集まれる身近な場を増やしてほしい |
| 2. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい |
| 3. 子育てに困ったときに相談したり情報が得られる場を作してほしい |
| 4. 無償化による教育・保育費の支援だけではなく、その他の費用負担も軽減してほしい |
| 5. 専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスがほしい |
| 6. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい |
| 7. 多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮がほしい |
| 8. 残業時間の短縮や休暇の取得促進等、企業に職場環境の改善を働きかけてほしい |
| 9. 子育てについて学べる機会を作してほしい |
| 10. 特にない |

問 34 子育て家庭や妊産婦が、教育・保育施設や地域子ども・子育て支援事業、保健・医療・福祉等の関係機関を円滑に利用できるように、身近な場所での相談や情報提供、助言等必要な支援を行うとともに、関係機関との連絡調整、連携・協働の体制づくり等を行う「利用者支援事業」がありますが、この事業を知っていますか。また、利用したことはありますか。(認知状況のあてはまる番号1つに○をし、利用意向のいずれか1つに○)

	認知状況			利用意向	
	知らない	聞いたことがある	知っている	利用したことある	今後利用する
1. 基本型	1	2	3	4	5
2. 母子保健型 (にじいろ子育て相談室)	1	2	3	4	5
3. 子育て世代包括支援センター	1	2	3	4	5

※「利用者支援事業」の概要

・基本型

当事者の目線に立った、寄り添い型の支援（利用者支援）と地域における、子育て支援のネットワークに基づく支援（地域連携）があります。

・母子保健型

保健師等の専門職が、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する妊産婦等からの様々な相談に応じ、その状況を継続的に把握し、支援を必要とする方が利用できる母子保健サービス等の情報提供を行うとともに、支援プランの策定などを行います。

※「子育て世代包括支援センター」の概要

「子育て世代包括支援センター」は、妊娠期から子育て期まで、切れ目なく支援を行う仕組みを指します。八潮市では、基本型（やしお子育てほっとステーション内）と母子保健型（保健センター内にじいろ子育て相談室）の連携により、切れ目のない支援を提供しています。

問 35 子育てに関して、不安や負担などを感じることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの健康に不安がある	2. 子どもの発育・発達に不安がある
3. 子どもの食事や栄養に不安がある	4. 子どもの教育に不安がある
5. 子どものしつけに不安がある	6. 子どもの友だちづきあいに不安がある
7. 子どもの将来の進路について不安がある	8. 配偶者の協力が少ない
9. 配偶者と子育ての意見が合わない	10. 子育てにかかる経済的な負担が大きい
11. 子育ての大変さを身近な人が理解してくれない	12. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいない
13. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからない	14. 相談相手がいない
15. 不安や負担などは感じない	16. その他 ()

問 36 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

満足度が低い					満足度が高い
1	2	3	4	5	

問 37 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

お疲れさまでした。ご協
力に感謝いたします。



調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

同封の封筒（切手は貼らず）に入れ、4月9日（火）までに
郵便ポストまたは、別紙の「回収ボックス施設一覧表」に記載してある、認可
保育所、幼稚園、学童保育所、子育てひろば等に設置してある回収ボックスへ
ご投函ください。